

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”
平成27年10月発行

vol.123



体育大会

Contents

特集 1

流れる汗と涙の高専体育大会 … 2 ~ 3

特集 2

変化した就活戦線 …………… 4 ~ 5

ニュージーランド

イースタン工科大学語学研修 …… 6 ~ 7

校内体育大会 …………… 8

体験入学 …………… 9

連載企画

先生の横顔 …………… 10

こんな授業やってます …………… 10

ANCTOPICS …………… 11



流れる汗と涙の高専体育大会

8月中旬から下旬にかけて、九州・沖縄地方において、第50回全国高等専門学校体育大会が開催されました。本校からも、地区大会を勝ち抜いた多くのクラブが参加しました。参加した選手の皆さま、お疲れ様でした。



H27 全国高専体育大会 成績表		
競技種目	種別	結果
テニス	男子シングルス	4E 長尾 優 1回戦敗退
	男子シングルス	5M 磯崎佑介 予選リーグ敗退
卓球	女子シングルス	1C 西脇綾乃 予選リーグ敗退
	男子団体	予選リーグ敗退
	女子地区対抗団体 (北海道・開催校混合チーム)	1回戦敗退
剣道	男子個人戦	3E 名畑優作 準決勝敗退 (個人戦3位)
	女子個人戦	2C 田中夢乃 2回戦敗退
	女子団体戦	1回戦敗退
柔道	個人戦 60kg 級	5E 福井崇久 1回戦敗退
陸上	4 × 100m リレー	2C 尾形佳亮, 3M 小林潤樹, 3S 佐藤拓郎, 4M 奥田隆輔 予選敗退
	円盤投	5E 佐々木恒平, 5S 能藤信之介 敗退
	100m	3M 小林潤樹 予選敗退
ソフトテニス	110m H	2C 尾形佳亮, 4M 奥田隆輔 予選敗退
	女子シングルス	1C 太田優花 1回戦敗退
	女子ダブルス	1C 太田優花, 4C 藤澤菜那 1回戦敗退
野球	女子親睦試合	4位 (0勝3敗)
		1回戦敗退

試合当日は、適度に緊張感を保ちつつ、終始自分のペースを崩されずに試合をできたので、3位という結果を得ることができたと思います。また、去年の自分の成績を上回れたことが個人的に最も良かった点であり、来年以降の全国大会に向けて大きな自信にもなりました。今回の経験と反省を日々の練習の中で生かし、来年はさらに上位での入賞を目指して頑張っていきたいです。

剣道部 電気情報工学科 3年 名畑 優作

卓球部は、男子個人戦、女子個人戦、男子団体戦、女子地区対抗戦で全国大会に出場しました。

個人戦、団体戦は男女ともに予選リーグ敗退という結果に終わってしまいましたが、フルセットまで粘った試合や、格上相手にセットを取った試合があり、非常に良いプレーができたと思います。来年も全国大会に出場し、より良い結果を目指して頑張りたいと思います。

卓球部キャプテン 機械システム工学科 3年 上田 峻太

7月中旬に、第51回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会が、競技種目ごとに道内4地区に分かれて開催されました。優秀な成績を収めたクラブは、8月に開催された全国高等専門学校体育大会への出場権を手に入れました。大会に参加した選手、運営に携わった学生と教職員の皆さま、お疲れ様でした。



H27 北海道地区高専体育大会 成績表

団体種目		団体種目		個人種目			個人種目		
団体種目	順位	団体種目	順位	個人種目	順位	個人種目	順位	個人種目	順位
陸上男子 4 × 100m リレー	優勝	剣道男子	2位	陸上競技		柔道男子			
陸上男子 4 × 400m リレー	4位	剣道女子 (出場1校)	優勝	男子 100m	小林 潤樹	優勝	60kg 以下級	福井 崇久	優勝
バスケットボール男子	4位	バドミントン男子	3位	男子 110mH	奥田 隆輔	優勝		福井 惟之	2位
バスケットボール女子	2位	野球	優勝		尾形 佳亮	2位	90kg 以下級	梅野 凌佑	2位
バレーボール男子	3位	アーチェリー	2位	男子走幅跳	佐藤 拓郎	2位	剣道		
バレーボール女子	2位	テニス	3位	男子円盤投	佐々木 恒平	優勝	男子個人	名畑 優作	優勝
ソフトテニス	2位	サッカー	4位		能藤 信之介	2位	女子個人	田中 夢乃	優勝
卓球	優勝	ラグビーフットボール	2位	ソフトテニス女子	藤澤・太田ペア	優勝	アーチェリー	佐藤 優太	優勝
柔道	2位			卓球			男子シングルス	長尾 優	優勝
				男子シングルス	磯崎 佑介	優勝	男子ダブルス	長尾・千財ペア	2位
				女子シングルス	西脇 綾乃	優勝	※個人種目は2位まで		
					東 莉彩	2位			

来年度の地区大会は、7月9日と10日に開催される予定です。

特集 2 変化した就活戦線

今年の就職活動は、採用活動の時期が大幅に変更になりました。そこで、学生に就職活動の指導を行った5年生担任と内定を得た5年生に対して、活動時期の変更による影響等のアンケートを行いました。

機械システム工学科 横井 直倫



- 1: 19名
- 2: 道内: 10名 道外: 9名
- 3: 11名
- 4: 4月
- 5: ・セイコーエプソン
・富士重工業
・サントリービール
・J R北海道
・北海道ガス
- 6: ・情報収集能力
・コミュニケーション能力
・基礎学力
- 7: ・情報収集能力(世の中にどのような職種があり、各々にどういった企業が存在しているのかといった情報に乏しかった。)
・基礎学力(SPI等の筆記試験で不採用となる学生が数名程度見られた。)
- 8: ・訪問企業への対応
・学生への求人情報(求人票、パンフレット等)の提供
・採用試験の日程調整
・履歴書作成指導
・面接指導
・企業への応募書類一式の送付
・企業からの採用試験結果通知の受諾、

- 9: ・企業からの採用試験結果通知の受諾、ならびに学生への結果通知(合格の場合は良いが、不合格の場合の結果通知受諾ならびに学生への結果通知には心苦しいものがある。)
- 10: ☑影響あり
(理由) 就職活動期間の長期化(例年だと夏休み位までにはほぼ全員が内々定をいただいていたが、今年度に関しては夏休み前に内々定をいただいた学生が7~8割程度にとどまっている。)
- 11: ☑行く必要あり
(理由)
・インターンシップに行った先の企業に、そのまま内定をいただいた学生がいたため。
・インターンシップ先での就業体験が、面接の際の受け答えにも十分に役立ったとの声が学生から聞かれたため。
- 12: ・事前準備(企業に関する情報収集、履歴書やエントリーシート等の作成練習、面接対策等)を早目に行い、採用試験直前になって慌てることの無いように心掛けて欲しい。

電気情報工学科 有馬 達也



- 1: 23名
- 2: 道内: 13名 道外: 10名
- 3: 12名
- 4: 1月
- 5: ・北海道電力
・NHK アイテック
・NTT ドコモ北海道
・東芝メディカル
・オムロンフィールドエンジニアリング北海道
- 6: 面接に慣れておくこと。
- 7: 面接対策が不足。
- 8: 求人企業の方と教員室などで会い、話を聞く。適性がありそうな学生がいれば、その学生に企業を紹介する。一度、工場や職場の見学をさせ、本人が希望すれば、受験させる。
- 9: 求人が多いのは、ありがたい話であるが、限度がある。渡した名刺が250枚を超え、通常の業務に支障が出るほど、対応に時間を使った。

- 10: ☑影響あり
求人希望する企業の来校が増え、5年生の担任に負担がかかった。3~4社受験すると、10月になる。10月初めは、内定式を行う会社が多い。すなわち、求人を行う会社が減り、就職が難しくなった。
- 11: ☑行く必要あり
(理由)
行った先の企業に就職する例も少なくないので。
- 12: まず担任に、どのような会社で働きたいかを伝えておくべき。何もわからなければ、担任からの斡旋を受けるとよい。給与の高い会社は要注意。仕事がキツくて多くの社員が辞めていくので、しかたなく高くしている会社も多い。最近では、いわゆるブラックな会社も多いため、自分で判断せず、担任に判断してもらおう方がよいと思う。

就職活動の指導を担当した5年生担任に聞いてみました!

- 設問 1: 就職内定の人数をお教え下さい。
- 設問 2: 内定者の道内企業と道外企業の人数をお教え下さい。
- 設問 3: 第1希望企業での内定者の人数をお教え下さい。
- 設問 4: クラス内で一番早く就職活動を始めた時期をお教え下さい。
- 設問 5: 内定先の企業名を5社程度お教え下さい。
- 設問 6: 就職活動で必要と思われるスキルをご記入下さい。
- 設問 7: 担任から見て、クラスの学生の就職に対して、欠けていたと思われるスキル等があればご記入下さい。
- 設問 8: 学生の就職活動において、担任が行う作業をお教え下さい。
- 設問 9: 設問 8において、一番苦勞した作業を1つお答え下さい。
- 設問 10: 今年から就職活動の時期が大きく変更となっていますが、その影響はありましたか? あった場合には、どのような影響があったのかをご記入下さい。
- 設問 11: 4年生のインターンシップには行くべきだと思いますか? また、その理由をお答え下さい。
- 設問 12: 今後、就職を予定している4年生以下の学生に対して、就職活動におけるアドバイスやメッセージがあればご記入下さい。

システム制御情報工学科 中村 基訓



- 1: 16名
- 2: 道内: 3名 道外: 13名
- 3: 14名
- 4: 4月
- 5: ・JR 東海
・ファナック
・DMG 森精機
・ダイキン
・富士重工業
- 6: コミュニケーション、自己分析
- 7: スキルというよりは、提出書類の準備に要する時間がどれくらいかということがわかっていない。計画性。
- 8: 提出書類(エントリーシート、履歴書など)の添削
面接指導
- 9: いつも時間的な余裕がない中で提出書類の添削や面接指導をしなければならなかった点。
- 10: ☑影響あり
企業によっては8月解禁のところがあり、そういった企業を志望する学生は周りが早い段階で決まっていって中々焦りを感じていないと思う。5Sでは幸いにもなかったが、8月解

- 禁企業を受験して失敗した場合、その後が大変になると思う。
- 11: ☑行く必要あり
(理由)
インターンシップ先にもよるが、やはり企業の雰囲気や味方が良いに決まっている(そういう意味では大学へのインターンシップはあまりおすすめしない)。企業というところはいろいろ情報が多くある。そういった中で、企業に入り込んで雰囲気を経験できるインターンシップは貴重である。高専、大学、大学院でそれぞれ1回ずつ違う会社にインターンシップに行くことができれば、将来の進路を選択する上で非常に大きな経験になると思う。
- 12: まずは自己分析をして、自分がどういう人間でなりたいかできるだけはっきりさせること。その後企業研究をして自分にあった企業を見つけること。学内セミナーなどには積極的に参加して、自分自身で情報を集めること。多くの先生に相談すること。

物質化学工学科 梅田 哲



- 1: 11名
- 2: 道内: 3名 道外: 8名
- 3: 5名
- 4: 4月
- 5: ・雪印メグミルク
・出光興産
・東レ
・東洋インキ
・JNC 石油化学
- 6: ・迅速な行動力(他の高専生、大学生に出遅れない)
・文章作成&プレゼン能力(自分をしっかりPRできる)
- 7: ・就職に対するがむしゃらさ(上記設問 6の2項目に該当)
- 8: ・就職活動に対するモチベーション作り、学生にあった企業の紹介&アドバイス、企業への応募連絡、履歴書チェック、推薦書作成、書類送付、面接練習など
- 9: ・就職活動に対するモチベーション作り
- 10: ☑影響あり

- (理由)
例年通りの採用活動を行う企業と8月からの企業が混在し例年よりも就職活動期間が長期化しています。来年度はまた見直しされる予定がありますので注意が必要です。
- 11: ☑行く必要あり
(理由)
就職を考えている学生は行くべきだと思います。ただ、今年度はインターンシップに行った先の企業を受けて内定をもらえなかった学生の割合が高かったので、インターンシップに行っているから大丈夫だろうと安心するのはやめましょう。
- 12: 自分が何をやりたいのか、どんなことに関わりたのか、将来どうなっていたいのか、これらを早いうちから具体的に考えておくことが重要です。また、本校の学生は他の高専に比較して就職に対する動きが遅く、スロースターターが多いと感じます。先に記入したように迅速な行動が必要ですのでその点を理解しててください。

5年生の内定者に聞いてみました！

機械システム工学科

森田 慧

- ① サントリービール株式会社 (サントリーグループ)
- ② 1社
- ③ 自分が製造に関わって完成したものが店頭に並んでいたり、親や友達が飲んで喜んでくれるとうれしいなと思い志望しました。
また、サントリーの工場が親戚の家の近所にあるので、小さい頃から何度も見ていた場所であり、なじみ深かったのでこの企業に就職したいという思いが強くなりました。
- ④ 4年生の夏頃から、学校のPCで閲覧できる求人情報のサイトを利用してどのような企業があるのかを調べました。中でも気になった企業についてはさらに深く調べました。また、ほとんどの企業が就職試験にSPIや適性検査を行うので、どの企業を受けるか決まっていなくても早めに就職試験の勉強を始めていました。
- ⑤ 機械科の先生にお願いをして、複数人の先生と面接練習をしてから本番に挑みました。
- ⑥ 新聞や本をもっとたくさん読んでおいた方が良いですよ。面接練習の際に言語力不足を実感しました。
- ⑦ 履歴書の記入欄や面接の時に企業から、“学生の時にがんばったこと”を聞かれることが多いと思います。そこで自分のやってきたことをしっかり伝えることができるかがとても重要です。これは自己アピールにもなります。なので、自分はこれに力を入れてきたぞ！というものを見つけて積極的に取り組んでみてください！



電気情報工学科

藤井 翔太

- ① オムロンフィールドエンジニアリング北海道株式会社
- ② 1社
- ③ 北海道のインフラ整備という大きな仕事に携わることによって、自らの責任感を養いながら社会に貢献できると思ったため。
- ④ 4月頃から、受ける企業の情報集めやSPI対策
- ⑤ ある程度言うことは決めておいて、アドリブでも答えられる練習をした。
- ⑥ 前もって、受けたい企業を決めておこう。
- ⑦ 面接練習やSPIなど早めにできることはやっておいた方がいいです。



質問1：内定を得た企業は？

質問2：ちなみに何社くらい受けましたか？

質問3：内定を得た企業を志望した理由は？

質問4：就職活動に関して、どのような準備をいつ頃から開始しましたか？

質問5：面接対策としてどのような事をしましたか？

質問6：就職活動を始める前の自分にアドバイスをするとしたら？

質問7：後輩へのアドバイスを一言お願いします。

システム制御情報工学科

田野平 美緒

- ① DMG 森精機株式会社
- ② 1社
- ③ 4年生の時に同社のインターンシップに参加したことが一番大きな理由です。工作機械メーカーという認知度の低い業種ということもあり、参加するまでは企業や業界についての知識はほぼありませんでした。インターンシップに参加する中で企業の魅力を感じ、自分のやりたい職種ともマッチしているということで志望しました。
- ④ インターンシップでの企業選びから入ると4年の夏からですが、本格的に受ける企業を決めて準備を始めたのは5年の春休みからでした。4月から6月までの間にES作成、面接対策、筆記試験対策等を行いました。
- ⑤ 担任や制御科の先生に面接練習をお願いし、改善点を指摘してもらいました。
- ⑥ もっと頑張っておいてTOEICの勉強をしてください。
- ⑦ 何事も早めに行動して損は無いです。自分の良いところが出せるように頑張ってください。



物質化学工学科

吉岡 未瑠

- ① 雪印メグミルク株式会社
- ② 2社
- ③ 私は、雪印メグミルクの製品である雪印コーヒーが大好きで、よく飲んでいました。どうすれば、このような美味しい製品をつくらることができるのかと考えたことがきっかけで、美味しくかつ、人々から愛される雪印メグミルクの製造、品質管理に興味をもちました。そこで私は、高専で学んだ化学系の知識を活かしたいと考え志望しました。
- ④ 去年の10月から、エントリーシート、履歴書の書き方やSPIの問題、面接練習に取り組んでいました。
- ⑤ 試験日がわかったのが試験日から1週間前のことだったので、試験の日を覚えてもらって直ぐに物質化学工学科の先生4人に面接練習をお願いしました。おかげさまで当日は堂々と面接官に伝えたい事を話すことができました。
- ⑥ もっと自分に自信をもってといたいと思います。当時の私は自信がなく、口下手な自分が面接できちゃんと志望動機、自己アピールを話すことができるのかと不安でした。面接は練習を積み重ねることによってできるようになるからとアドバイスしてあげたいです。
- ⑦ 早めに準備 (エントリーシート、履歴書の書き方、SPIの問題の練習、面接練習など) をしておくことです。



ニュージーランドイースタン工科大学語学研修

本校では、夏期休業中、ニュージーランド・ネーピア市のイースタン工科大学 (EIT) において、本科3~5年生の希望者を対象とした語学研修を実施しています。これは、道内4高専とEITとの学術交流協定に基づく連携事業として実施しているもので、今年度は8月28日(金)~9月13日(日)の日程で、7名の学生が参加しました。今回は、この研修のポイントや参加した学生の感想を紹介します。



引率 物質化学工学科
准教授 堺井 亮介

授業を担当する先生はもちろん現地の方なので、授業は全て英語で行われます。発言を促されることが多く、リスニングやスピーキングに重点を置いた授業内容となっています。クラスには他の国からの留学生もおり、色々な国の人とコミュニケーションを取ることができます。授業以外にも、博物館や美術館の訪問など、いろいろなイベントが用意されており、充実した学校生活が送れます。約2週間の研修期間中は、現地の一般家庭にホームステイします。ホストファミリーはもちろん、他の国からの留学生がいる場合もあり、日常生活でも英語で会話する必要があります。ホストファミリーとの生活を通して、日本とは異なる文化や慣習に触れることができます。



この研修の山場の一つに科学実験の出前授業があります。今年は、地元の中学校へ出向き、「空気」と「音」に関する実験を行いました。皆それぞれ、英語でのスピーチや実験の実施、中学生とのコミュニケーションなどを積極的に行いました。中学生達も大いに喜んでおり、大成功だったと言えます。

もちろんメインは語学研修ですが、イースタン工科大学のあるホークスベイ地方のツアーや広大な羊牧場の訪問、羊の毛皮工場や蜂蜜農場の施設見学、オークランド市の観光など、勉強以外のプログラムも盛りだくさんです。本研修を通して、参加した学生達はたくさんの貴重な経験をする事ができたようです。興味のある学生の皆さん、次はあなたです。是非この機会を利用して、海外への第一歩を踏み出してはいかがでしょうか？



「海外へ出ることやホームステイは人生初めての経験だったので、不安だらけで緊張していました。しかし、ホストファミリーを始めとしたニュージーランドの人々はとても親切にしてくれて、2週間が短いと思うほどとても楽しめました。英語しか使えない環境の中で自分の意思を伝えるのは難しく、もっと英語を学びたいと心から思いました。またいつかホストファミリーと会った時に今度こそたくさんのおしゃべりができるように、これから頑張っていきたいと思います。」



システム制御情報工学科 4年
近藤 渚紗

「私はこのNZ語学研修に参加することができて本当に良かったです。」

「大学での生活は、様々な国の人とコミュニケーションをとることができ、休日は水族館に連れて行ってもらったり、放課後は体育館でスポーツをしたりと、とても充実したNZ生活を送ることができました。」

「初めての英語圏にとっても緊張しましたが、会話をしていく中で“英語を聞き取る力”が身についたと思います。この2週間を通してたくさんの友達を作ることができ、最高の思い出を作ることができました。NZ語学研修おすすめです。」



機械システム工学科 4年
古平 雛子



「NZ語学研修は本当に楽しかったです。ホームステイ先では、ホストファミリーが優しく接してくれたので不安なく、たくさん話したりして楽しく過ごせました。大学では、先生方が丁寧に英語を教えてくださいましたので授業が苦になることなく、楽しめました。2週間という短い期間でしたが、多くの貴重な経験ができ、有意義に過ごすことができました。機会があればまた行きたいです。いろいろなことを学べるので、皆さんもぜひ行くことをお勧めします。」



システム制御情報工学科 4年
山本 拓摩



物質化学工学科 4年
長谷川 舞

NZ 語学研修では、様々な人と触れ合う機会が多くありました。行動を共にした他高専の人達とも仲良くなれ、ホームステイ先のファミリーとも毎日楽しく過ごせました。現地で私たちが通った大学では、色々な国の学生が集まった少人数クラスでコミュニケーションをとりながら英語を勉強し、周りの人と英語で会話することは難しかったですが、楽しいとも思えました。本研修での一番の成果は、英語を話すことへのためらいがなくなったことだと思います。

語学力の向上を考えるならば、半月の研修は短いかと思います。しかし、ホームステイや大学に通うことは旅行では難しいですし、現地の学校に出前授業に行くことや、他高専と関わりを持つことは高専のプログラムの特色ではないかと思えます。日本人の団体で行きますが、英語を話す機会も、現地の文化慣習に触れる機会も十分です。関心があるならば、参加することをお勧めします。私はこの研修に参加して本当に正解だったと感じています。



物質化学工学科 4年
石井 峻太



NZ 語学研修は僕の高専生活一番の思い出になりました。英語も普通の授業とは全然違うやり方で学べたし、ミニ旅行もあったので、間違いなく楽しいです。NZ 英語は独特のアクセントがあり面白く感じました。そのため、TOEIC のリスニング練習にもなりました。僕は NZ でたくさんの人と出会って、英語で楽しくコミュニケーションをとることができました。日本にいるときはなかなか英語を話す機会がないので、英語に興味がある人、英語を話してみたい人はぜひこのプログラムに参加してみてください。



物質化学工学科 4年
村山 大雅



はじめての海外渡航がこのNZ 語学研修となりましたが、とても良い経験になりました。英語オンリーの英語の勉強はもちろんのこと、日本とは違う土地、気候、文化を密接に感じることができました。特にホームステイ先では自分のつたない英語でも親身に聞いてくれ、ホストファミリーとの話が弾み英会話も少し身についたかなと思います。長いようであつという間の貴重な2週間でした。



物質化学工学科 3年
富山 草太



校内体育大会

5月14日(木)と15日(金)の2日間にわたり、校内体育大会が開催されました。初日の午前には雨に見舞われましたが、その後は天候も回復し、屋外での競技も行うことができました。特に、体育大会の名物競技となっている駅伝も4年ぶりに開催することができました。大会中は、競技する学生や応援する学生たちの元気な声が溢れていた体育大会でした。



順位	クラス	ソフト	フットサル	バドミントン	バレー	テニス	バスケ	綱引き	ウォーク	駅伝	ダービー	出席率	決意	総合得点
1	5E	45	50	50	20	10	20	10	25	23	16	35	3	307
2	4E	10	40	40	10	20	30	20	40	20	16	25	5	276
3	5M	30	10	10	10	20	50	35	57	26	0	15	3	266
4	4C	0	20	20	30	20	20	40	40	18	16	20	0	244
5	4S	45	20	10	0	0	10	30	57	30	0	25	0	227
6	5S	20	10	35	10	10	35	10	57	0	0	15	12	214
7	2E	10	30	30	10	0	40	0	8	50	0	25	3	206
8	4M	20	10	20	40	0	10	0	42	5	24	25	0	196
9	2M	20	35	0	50	0	0	20	25	4	0	35	5	194
10	3C	10	20	0	10	0	20	10	23	40	16	20	15	184

学生会会長 物質化学工学科 3年 佐々木 慈生

今年度の体育大会では多くの学生に楽しんで貰える事を目標に様々な工夫をしました。

しかし、現状は同時刻に競技が行われると必要な人数がクラスの半分程度でも人が足りないというクラスもありました。

体育大会は学校行事なので運動が得意な人だけが出場するのではなく、苦手な人がいても一致団結してクラスの力を競うような行事にしていきたいです。

体育大会実行委員長

システム制御情報工学科 4年 池田 一幾

昨年に引き続き体育大会実行委員長を務めさせていただきました。

今年度は昨年より多くの競技を実施することができましたが、体育大会が成功したとは言いきれません。言い切れないのは学生の温度差が大きいのが大きな原因です。

もっと学校行事として盛り上げるためにも、学生全員で体育大会に取り組んでいけたら良いと思います。

体験入学

9月5日(土)と6日(日)の両日、本校において、中学生を対象とした体験入学が開催されました。専門学科の雰囲気を経験する体験授業では、高専生が中心となって中学生向けに体験授業を行いました。この体験入学をきっかけに、多くの中学生が本校に興味を持ってもらえればと思います。



物質化学工学科体験授業

一生懸命掻き混ぜよう~!



頑張ってはんだ付けするぞ~!



電気情報工学科体験授業

パソコンで
図面を書くのは大変~!



機械システム工学科体験授業

美味しくケーキが焼けました~!



システム制御情報工学科体験授業



高専での生活は楽しいですよ



女子生徒対象の懇談会



意外とおいしいです。



明誠寮での昼食体験



松岡 俊佑

機械システム工学科
助教

このコーナーでは先生から色々なお話を伺い、授業だけでは分からないその素顔に迫ります！

■ どんな科目の授業を担当していますか？

機械システム工学科の科目の中で、主に電気・電子系の授業を担当しています。担当授業は、2年生の「工学基礎演習」、3年生の「電気工学」、4年生の「メカトロニクス」です。4・5年生の工学実験では組み込みマイコンに関する実験テーマを担当しています。

■ その科目の勉強の仕方や試験対策などこっそり教えてください。

電気工学は計算がメインなので、日頃から演習問題をしっかりと解いて計算力を養っておくことが重要です。メカトロニクスは世の中で使われている製品に直結する学問です。身の回りにある製品のどの部分で利用されているのかをイメージしながら勉強すると理解が深まります。

■ 1年間学校を離れてみて、大学と高専の違いや外から見た高専の印象を教えてください。

昨年度は人事交流制度で豊橋技大で勤務してきました。1・2年生の授業を担当したのですが、学力が予想以上に高く、授業レベルの修正を余儀なくされました。また、高専の同年代の学生と比べると、大学の1・2年生は、より自律しているという印象を受けました。

■ 先生の趣味や特技があれば教えてください。

趣味は歴史に関する本を読むことと、史跡めぐりです。旅行先ではお城や遺跡を訪ねたり、郷土資料館や博物館によく立ち寄ります。昨年度は愛知県に住んでいたため、休日になると県内や隣の静岡県、長野県まで車で出かけて行って、史跡めぐりをしていました。

■ 先生が大学時代に夢中になっていたことはありますか？

ロボットが動く仕組みに興味があり、大学時代にはロボット制御が専門の研究室に所属して、ロボット製作に熱中していました。ロボットコンテストに参加したこともあります。

■ 学生の皆さんへ、充実した学校生活を送るためのアドバイスをお願いします。

社会人になってからではできないこと、今だからこそできることがたくさんあるはずです。いろいろなことに挑戦してみてください。きっと成長につながるはずです。

こんな授業 やってます

科目名だけでは「？」な高専独特の専門科目を、専門外の皆さんにも分かりやすく簡単にご紹介します！



熱力学 I

熱力学とは、産業革命以降、近代工学の礎を担う非常に重要な古典力学の一つです。自動車のエンジンや発電機など様々な熱機関は、流体（空気や水など）の状態（圧力、密度、温度など）の変化を利用して、燃料より得られる熱エネルギーから動力を取り出します。この仕組みを理解するため本授業では、理想気体の状態変化や熱力学の様々な法則及び全ての熱機関の基礎となる可逆カルノーサイクルについて学びます。



機械システム工学科
准教授 石向 桂一

計算機工学

私たちの身の回りには、コンピュータやテレビなどデジタル機器が溢れています。これらのデジタル機器は、ロジック IC (Integrated Circuit) と呼ばれる電子部品を基に動いています。私が担当する授業では、ロジック IC の論理的な動作原理を解説し、デジタル機器の最も基本的な動作原理を教えています。



電気情報工学科
講師 宜保 達哉

コンピュータグラフィックス

一般的に CG と呼ばれるコンピュータグラフィックスは、直線、曲線、平面等から構成されています。この授業は、専用の CG 作成ソフトを使用して CG を作る授業ではありません。この授業では、直線、曲線、平面等の CG の基本的な構成要素に関する知識を深めて、皆さんがよく目にする CG の中身が、どのように作られているのかを学びます。



システム制御情報工学科
教授 橋本 直樹

物理化学実験

物理化学実験では、座学で修得した知識を元に様々な物理現象の観察・測定・データ処理を通じてより理解を深めていきます。反応熱の測定、液体の粘度測定など物理化学に関する7~8の実験テーマを、少人数グループに分かれて進めています。学習内容の理解だけでなく、実験の進め方やレポートの記述法を修得することも重視しています。



物質化学工学科
助教 兵野 篤

「平成 27 年度旭川工業高等専門学校・ 水原ハイテク高等学校交流事業」の中止について

韓国での「MERS コロナウイルス」の感染者及びそれによる死者増加の報を受け、文部科学省から 2015 年 6 月 6 日付けで注意喚起が発出されました。このような状況を総合的に勘案し、本校においても今年度の交流事業の中止を決定し、水原ハイテク高校に申入れを行い、双方合意に至りました。

国際交流事業 WG メンバーをはじめ、関係の教職員においては、受入れ／訪問準備に尽力して参りましたが、学生の安全確保を最優先に考えた末、このような決断となりました。非常に残念な結果となりましたが、ご理解頂きますようお願いいたします。



授業参観

大型連休開始直前の 5 月 1 日(金)に、本校にて、授業参観が開催されました。多くの保護者の方々にご参加頂きありがとうございました。日頃行われている授業を見学して頂くことで、学生が学習している環境や自宅とは異なる姿をご覧頂けたと思います。

モノづくり企業体験交流会へ参加しました！



北海道銀行主催のモノづくり企業体験交流会が 8 月 24 日(月)～26 日(水)の 2 泊 3 日の日程で開催され、道内の有力企業 4 社を訪問しました。本交流会は、道内 4 高専と道内企業との接点強化や有用な人材の将来的な道内での活躍を期待して実施されている事業です。各企業で活躍する OB の姿と将来の自分を重ねて考えている学生もいたようで、大変有意義な交流会となりました。

国際会議での受賞報告



応用化学専攻 1 年生の間藤 芳允さんは、「5th International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS)」において、ポスター発表し「東レ賞」、同じく応用化学専攻 1 年生の此下 亜椰さんは、「The 4th International GIGAKU Conference in Nagaoka」において、ポスター発表し「Best Poster Award」をそれぞれ受賞されました。今回の受賞は、旭川高専として誇りであると共に、両名の技術者・研究者としての益々の活躍が期待されます。

間藤さん(左)、清水校長(中央)、此下さん(右)

行事予定

平成27年度
11月～3月



11月	5日(木)	就職適正検査(本科4年・専攻科1年)
	12日(木)	就職実践模試(本科4年・専攻科1年)
	22日(日)	ロボコン全国大会(東京)
	24日(火)～12月4日(金)	後期中間試験(授業内実施)(本科)
12月	10日(木)	就職適正検査結果説明(本科4年・専攻科1年)、第4回TOEIC IPテスト
	12日(土)	EMaT工学系数学統一試験
	17日(木)	学生会演説会(本科)
	18日(金)	学生会役員選挙(本科)
	26日(土)～1月7日(木)	冬期休業
1月	8日(金)	休業(開校記念日振替)
	12日(火)	授業開始
	14日(木)	学習到達度試験(本科3年)、教養選択科目説明会(本科3・4年)、第5回TOEIC IPテスト
	21日(木)	学生総会(本科)
	28日(木)	就職模擬面接(本科4年・専攻科1年)
	29日(金)	卒業研究発表会(本科5年)
2月	9日(火)	特別研究発表会(専攻科2年)
	12日(金)～19日(金)	学年末試験(本科)
	18日(木)～3月31日(木)	学年末休業(専攻科)
	22日(月)	休業(本科)
	26日(金)～3月4日(金)	特別指導期間(本科)
	26日(金)～3月31日(木)	学年末休業(本科)
3月	18日(金)	卒業証書授与式(本科)、修了証書・学位記授与式(専攻科)

FANCT vol.123

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」(楽しい、愉快的)の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しいな学校だよになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー転写等の二次利用は固くお断りしております。

編集後記

今後、世の中の情勢により、さらに就職活動の時期が変更される可能性もあります。しかしながら、就職活動の時期が変化したからといって、インターンシップへの参加、エントリーシートの作成、面接、SPIテストなど、就職活動で行う内容は何も変わりません。そのため、本号の先輩や先生からのメッセージが、これから就職を考えている学生に対して、少しでも役に立てばと願っています。最後に、製作にご協力頂いた学生、教職員へ感謝を申し上げます。

記載：以後 直樹 (学校広報 WG)